



私の高校生活

河南省・洛陽外国語学校 高2（女）

曹 苗

紺色なスカートと白いシャツ。初めて高校生の制服を着て、新鮮な感覚に満ちていて、アニメのような高校生活に憧れてたまらなかった私は、もう高校二年生になりました。日記を開いて、一年の高校生活で私は何度も笑って、何度も泣いて、いろいろな知識や暖かい友情など多くのものを得て、自分が成長したような気がします。高校で過ごした日々は、色褪せることなく、思い出の中にきらきらと輝いています。

2012年9月28日 金曜日 晴れ

いよいよ合唱コンクールの日が来た～。クラスに入ったばかりの時、ほとんど知り合わなかった私たちは、合唱の練習によって、仲がよくなった。初めて歌った時は大変だったね。みんなばらばらで、音を外した人もいた。それでも、私たちは諦めないで、グループに分けたりして練習していた。私は琴で伴奏することになって、弾き間違わないように、毎日帰ってから遅くまで練習していた。今日、舞台上立って、皆さんも私と同じように胸がドキドキしたかな。でも、いつも厳しい指揮者の先生の笑顔を見て、少し落ち着いた。結果は一位じゃないけど、私たちには大成功だった。三年生になったら、合唱コンクールに参加できないから、みんなだれでも今度の合唱コンクールを大切にしているでしょう。

2012年12月27日 木曜日 雪

今日は寒かった。朝なかなか暖かい布団を離れられなくて、遅刻した。「やばい。担任の先生に叱られるかも。」でもラッキーなのは、先生はドアに背いて、ほかの遅刻した生徒を叱っていた。「セーフ！」私は先生の目を盗んで、こっそりと教室に入ろうとしたら、先生に呼び止められた。私は先生の前に戻って、頭を下げたまま、先生の目を見る勇気がなかった。「ごめんなさい。遅刻しまして。」「何で逃げるの？ 確かに遅刻するのは悪いけど、遅刻したら正直に認めてよ。いいか、成績

だけがいいとは優秀じゃない。ちゃんと時間を守って、自分の過ちを認めてよ。」先生が教えてくださった。時間が守れない人は何もできない。臆病な私はもう二度と逃げないと決心した。これから勉強だけじゃなく、もっと行儀のいい人になれるように頑張るから。

2013年3月4日 月曜日 小雨

新学期を迎えて、私は新しい友達ができ、隣の武ちゃんだ。私たちは一緒に遊ぶだけでなく、毎日一緒に宿題をしたり、わからない問題を考えたりして、勉強も楽しくなった。確かに高校の勉強は中学校よりずっと大変だけど、私たちはお互いに励まして、勉強の面白さ探してるんだ。ついこの前、私は数学の試験でいい点数が取れなかった。少し自信がなくなった私に、武ちゃんは「たった一度の失敗でへこたれるな。苗ちゃんなら、もっと努力すれば、必ずできるよ。」と背中を押してくれた。そして数学の得意な武ちゃんは間違ったところを一つ一つ説明してくれた。本当の友達はそうでしょう。うれしい時も、落ち込んでいる時もそばにいてくれて、喜びを二倍にし、悲しみを半分にするんだ。

2013年4月24日 水曜日 晴れ

今日は高校生になって、初めての運動会だ。二週間前、私はリレー競争に出ようと決めた。放課後はいつもみんなで遅くまでグラウンドで練習してきた。みんなやる気満々な顔をして、私も「頑張らなきゃ。転んじゃダメよ。」とつぶやきながら、スタートラインに立って、走り出した。結局緊張しすぎたせいか、途中で転んでしまった。「頑張れ！」向こうからのクラスメートのエール。私はすぐ立ち直すと、ゴールへ全力でもう一度走り出した。「ごめんね。全部私のせいで…」みなさんは泣きそうな私にこう言ってくれた。「結果なんてどうでもいい。みんなで練習した毎日楽しかった。それでいいよ。ねえ、みんな？」「そうそう。来年の運動会、また一緒に頑張ろうぜ。」私は涙が出た。私のせいだったのに、みんなが暖かくしてくれた。やさしいみなさんと出会えて、本当によかったと思う。

充実した日々の中で、私はいつも幸せを感じて、残り少ない高校生活を惜しみながら、楽しく過ごしています。何篇日記を書いても、何枚写真を撮っても、時間の流れが止められないとわかっていますが、どうしても高校生活の記憶を残らせたいです。これは青春の記念ノートです。うまくいけなくて諦めそうになった時もそば

にいてくれた友達、厳しいながらもいろいろ教えてくださった先生、一緒に汗をかいて一生懸命頑張ったクラスメート、将来大人になっても、ずっと忘れません。どんな苦しい時でも、どんな失敗に遭っても、立ち直る力がわいてくるような気がします。高校生活は私に勇気を与えたり、未来への道を案内したりしてくれました。私はこれからも、周りの人々に感謝の気持ちを持って、いろいろチャレンジをして、自分を磨いて、高校のあと二年の時間を無駄にしないように、笑顔で頑張っていきたいです。